

天然石透水性舗装材

AバインダーE

E-200

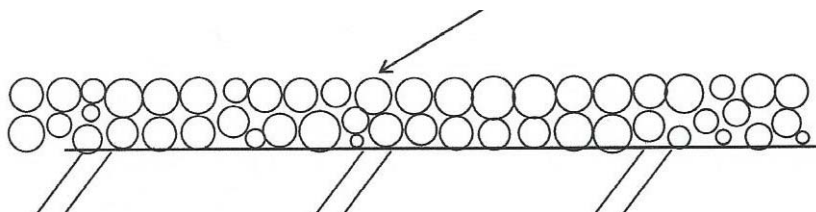
施工要領書

青野産業株式会社

1. 仕様

AバインダーE 舗装工法 (コンクリート、モルタル下地)

AバインダーE



コンクリート、モルタル、アスファルトコンクリート面

| 材 料 | | | | 塗り面積 | |
|---------|-----------------|-----|-----|---------|-------------|
| 骨材 (kg) | AバインダーE 樹脂 (kg) | | | 合計 (kg) | |
| 20 | 主剤 | 硬化剤 | 計 | 21.4 | 塗厚8mm 1.5㎡ |
| | 1 | 0.4 | 1.4 | | 塗厚10mm 1.2㎡ |

*AバインダーE 樹脂の配合比=主剤：硬化剤=5：2

2. 下地処理

1) 素地点検

必要に応じてコンクリート又はモルタルの表面強度を建研式引張試験器により測定する。0.78 N/mm²以下の応力で破壊を生じた時は、エポキシ樹脂配合物の施工には弱いと考えられます。

2) 表面処理

レイトンス、アマ.....サンダー等で機械的に除去する。

その他の堆積物.....研削、ワイヤブラシ、サンダー等で除去する。

グリース、油等.....ケレンで除去後、シンナーで拭き取る。

3) 不陸、凹凸、欠損部、亀裂、浮き等の処理

モルタルが浮いている場合は、エポキシ樹脂を注入するか、研りとって下さい。不陸、凹凸、欠損部は十分に清掃の上、ポリマーセメントモルタルで補修するかエポキシ樹脂モルタルを充填して平滑に仕上げてください。

脆弱部はエポキシ系プライマーを充分浸透させ、強化して下さい。

3. 施工手順

1) 下地施工条件

(1) 排水処理

AバインダーEを施工した場合透水性があるため、下地（コンクリート、モルタル）を打設時に勾配をとり、水が溜まらないように、水抜き穴をとるようにして下さい。（下地が透水アスコン等の場合は、必要ありません。）

(2) 目地材等を設置する場合

- ・目地材としては、真鍮目地、ボーダータイル、大理石ボーダー、軟質ゴム目地等を使用して下さい。
- ・予め、施工箇所に目地を設置してから施工を行ってください。

注1) ボーダータイル、大理石ボーダー等の場合、養生を行ってから施工して下さい。

注2) 軟質ゴム目地は、駐車場等への施工の場合は避けて下さい。

(3) 縁石等のまわり

- ・縁石等の際の部分は、最低10mm以上の塗厚をとり、縁石等の天端より1mm程度骨材の面を下げる様に塗り付けて下さい。
- ・縁石等が動く恐れがある場合は、設置部に目地（ウレタンシーリング等）をとって下さい。

(4) 清掃

電気掃除機で、ゴミ・塵埃を除去して下さい。

水洗い等で下地が濡れた場合は、十分に乾燥してから施工して下さい。

乾燥まで余裕のない場合は、湿潤面用エポキシプライマーを0.2～

0.5kg/m²塗布し、乾燥後（2～3時間）次工程に移って下さい。

2) AバインダーEと乾燥骨材の混合

(1) 塗り面積、塗厚から必要量のエポキシ樹脂、骨材の量を算出して準備します。AバインダーEは主剤：硬化剤＝5：2の比率、主剤、硬化剤は別容器を使用し、それぞれ性格に計量して下さい。

配合比率を誤ると、硬化しないので、軽量には特に注意して下さい。

目分量で混合することは、絶対に避けて下さい。

(2) 骨材をトロ舟又はモルタルミキサーに投入

- ・骨材は完全に乾燥し、汚れがなく、且つ不純物の混入していないものを使用して下さい。
- ・トロ舟又はモルタルミキサーに骨材20kgを入れ、空練りして下さい。
- ・用具、工具はステンレス若しくはプラスチック製を使用して下さい。

(3) AバインダーE 主剤 硬化剤の場合

- ・別の容器にあけた主剤中に硬化剤を投入し、主剤、硬化剤を電気ハンドミキサー等を使用して均一に混合して下さい。
- ・混合後、ただちに骨材と混合できるような手順にして下さい。

注1) 塗り面積が小さく、樹脂を全量使用しない時は、必要量の樹脂を(1)の比率で軽量し混合して下さい。

(4) AバインダーEの投入

- ・トロ舟又はモルタルミキサーにあけた骨材の上に(3)で混合したAバインダーEを投入します。
- ・骨材とAバインダーEがムラなく均一になる迄、混合します。
(モルタルミキサーで3～5分程度)

(5) 1回の混合量は30分以内に使い切る量にして下さい。

(6) 混合物の取出し

3) AバインダーE混合骨材の施工(塗り付け)

(1) AバインダーE混合物の運搬

- ・バケツ、トロ舟、一輪車等で運搬する。

(2) 敷き均し

- ・施工箇所に練り上げた骨材を直接あける。
- ・トンボ等でおおよそのレベルまで敷き均す。

(3) 金鋺仕上げ

- ・大きめの鋺で、石の目を詰めるように鋺圧を掛けながら、表面をムラのないように均一に仕上げる。
- ・鋺は市販のラッカーシンナーを含ませたウェスで良く拭きながら作業すると、鋺滑りが良く、作業が容易になります。

(4) 可使時間

- ・骨材とAバインダーEを混合後、30分以内に施工を完了する。

4) 養生

(1) 24時間で歩行可能です。重量物の設置、フォークリフト等の運転は

- ・20℃で72時間以上養生して下さい。

(2) 施工後、10時間は降雨又は水の流入等のないように注意して下さい。

4. 注意事項。

- 1) AバインダーEに使用されるエポキシ樹脂は、水分によって硬化が阻害されるので次の点に注意して下さい。
 - (1) 骨材等の水分は、完全に乾燥して下さい。
 - (2) 下地は十分に乾燥させた後、施工して下さい。(水分8%以下)
 - (3) 天候には細心の注意を払い、降雨が予想される場合は、施工を延期して下さい。
 - (4) 万一施工中に降雨や他の水の流入が生じた場合、速やかに施工を中止し、ビニールシート等で覆うこと。
万一施工後、10時間以内に水に濡れると白化現象が発生し、手直しで除去することは困難です。
- 2) 気温又は室温が5℃以下の時は、施工を中止して下さい。
 - (1) 低温の場合は、AバインダーEの硬化反応が十分に進行せず、本来の物性が得られないことがあります。
 - (2) 冬期での室内施工は、ジェットバーナー等で採暖しても、下地は予想外に冷えていることがありますので、特に注意して下さい。
- 3) 硬化剤は気温に応じて夏型と冬型を使い分けますが、20℃以上なら夏型、20℃以下なら冬型というのが大体の目安です。
特に季節の変わり目では、施工場所の気温、施工時間、天候の様子等を考慮して選択する必要があります。
- 4) 夏期炎天下での混合作業では、反応が急速に進み短時間で施工不能となることがあります。次のような配慮が必要です。
 - ・ AバインダーE、骨材は直射日光を避けて保管して下さい。
 - ・ ミキサーによる混合も、日陰、室内等直接日光を避けて行って下さい。
夏期以外でも、直射日光下では予想外に温度が上がりますので、屋外での作業には充分注意して下さい。
- 5) シンナー、AバインダーEは引火性が高いので、施工中は焚き火、喫煙等火気は厳禁として下さい。
- 6) 溶剤類の使用時は換気を充分に行ってください。
特に室内施工の場合は、局所排気装置の設置が必要です。
- 7) 皮膚の過敏な人、及びアレルギー症の人は、AバインダーE取扱い作業には従事させないでください。
- 8) 用具・器具は使用后、直ちに洗液で洗浄しAバインダーEを拭き取って下さい。

9) 施工目地について

- (1) 休憩時間等の施工ジョイントは、板等を使用して施工ムラがない様にして下さい。
- (2) 施工ジョイントは、(1) の処理を行っても施工後目立つ場合があります。

AバインダーE施工仕様書

天然石透水性舗装材 青野産業株式会社

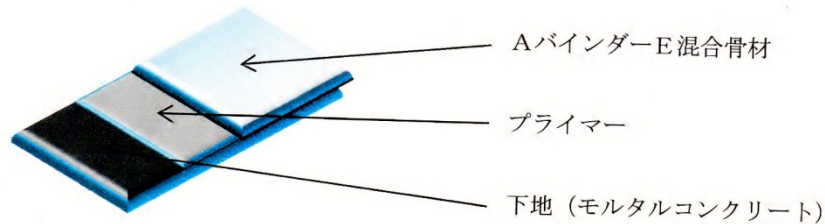
用途：公園・遊歩道・アプローチ・駐車場等

分類：各種用途の床面の天然石透水性塗床材

1. 概要

AバインダーEは天然石、或いはカラーセラミックに配合して施工する商品で新しいアメニティ空間の創出を演出するもので、塗り易く且つ簡単な作業で優れた性能を発揮します。

2. 仕様



3. 施工工程

| 工程 | 使用材料 | 配合比 | 塗布量 | 施工方法 | 塗装間隔 |
|---------------|---------------------------------|---------------|--------------------------|------------|---------------|
| 下地調整 | 下地の汚れ、ゴミ、ホコリ、油分、水分等を除去し清掃して下さい。 | | | | |
| プライマー塗布* | AバインダーE プライマー | 主剤:硬化剤 5:2 | 0.3 kg/m ² | 刷毛 ローラー | 直後 |
| 上塗* (8mm厚) | AバインダーE 混合天然石 | 主剤:硬化剤 5:2 | 1.5kg 20kg | 金鋺 | 歩行可能 24時間後 |

*コンクリート下地でも用途によっては、プライマーが必要です。

4. 荷姿と塗り面積

| 品名 | 容量 |
|---------|-------------------|
| AバインダーE | 主剤1kg、硬化剤0.4kgセット |

5. 施工上の注意事項

1) コンクリート乾燥養生は打設後4週間以上、モルタルは2週間以上必要。

下地の清掃は、必要に応じポリッシャー掛けを行って下さい。

2) プライマー塗布直後（タックのある間に）金鋺で均一に塗付けて下さい。

*降雨の予想される場合は、施工を中止して下さい。